

## WIL-BU

WILL BUILDING PROJECT

ウィルブプロジェクト活動報告

## 人吉高野寺「本堂」再生計画完了

2020年7月、球磨川の大規模氾濫によって堂宇が完全に水没し、すべての所有物が流失した「人吉高野寺」で、本堂の修復が完了、12月15日「落慶法要」が行われました。

蓮華を現した八角形の本堂は、新たに設置した堅牢な基礎の上に印象的な格子の構造壁が美しく、晴れ渡った冬の日差しを堂内に取り込み、お化粧直しされたご本尊も輝いて、優しく微笑んでいらっしやいます。



令和2年12月15日撮影



本堂の天井は、2色の板が幾何学的に配置されシメトリイな模様を描いています。濃い色は洪水前に使用されていた板を再利用しています。新しい材料には敢えて古色塗装をすることなく、そのまま使用しました。今はくつきり色わけされていますが、今後永い永い時を経て次第に過去と未来が融合して行き、この天井がひとつの色に染まる遙かな未来までも、今回のような災害が起きないように、という祈りを込めています。

お参りの際は、この天井を是非見上げて、ひとつの色に染まる未来を想い描いてみてください。



「格子戸」に見えるのは、新しい本堂を支える堅牢な「構造壁」です。残念ながら開放は出来ませんが外光を堂内に取り込み、季節や時の移ろいを感じることが出来ます。CLTパネルによる「木造のビル」を建築したウィルブプロジェクトの知見を活用し、文化財登録目前で罹災した本堂のイメージを崩さずに新しい表情を持たせています。この格子細工は単純な仕口ではなく、補強のために専用の治具を開発して造作しています。興味のある方はじっくり調べてみてください。



12月15日「落慶法要」が行われました。朗々たる読経の後、ボランティアのみなさんと共にウィルブプロジェクトにも味岡戒孝住職から感謝状が贈呈されました。

当日はこの冬イチバンの冷え込みで初雪が舞うこともありましたが、法要後は冬日和で記念写真に収まる笑顔にも安堵感が仄見えます。



**人吉おすすめグルメ**

**丸一蕎麦屋** 0966-22-3078  
maruichisobaya.com

創業122年、ざる蕎麦と温かいかしわ蕎麦のセット、注文時に「どちらからお持ちしましょうか？」と尋ねられる。コシの強いザル、出汁が旨すぎるかしわ。親子そばやとろろ飯も侮れない。箸休めの昆布の佃煮は、大蒜が効いていてうまい。是非お土産に買うことをオススメする。罹災したが仮店舗で元気に営業中!!



復興はまだまだ道半ばです。ウィルブプロジェクトは引き続き「人吉高野寺」の復興をサポートしていきます。

